

---

# **デジモンティマーズ ~重なる物語~**

JOKER

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

デジモンティマーズ～重なる物語～

### 【著者名】

N4057N

### 【作者名】

JOKER

### 【あらすじ】

デ・リーパとの戦いから1ヶ月たつて・・・感動の再開しかし、まだ物語は始まつたばかりだつた・・・

## 第1話 感動の再開（前書き）

どうも。初心者のTOKERです。『デジモン』が好きなので、小説をかくことにしました。よろしくお願いします。

## 第1話 感動の再開

デ・リーパとの戦いから一ヶ月。  
僕たちはもうなんともないみたいに暮らしていた・・・  
はずだつた。

「タカト！――」

「あつ。うん！――」

ぼくは松田 タカト。

デジモンティマーだ。いやそつだつた。  
いまじやただの人だ。

声をかけてきたのは博和。おなじく

「ティマーだつた」友達。

「おーい！――きいてんのかあ！？」

ピッ！ピッ！

意味はないけど思い出にしていたデジヴァイスがいきなりなつた。

「ギルモン、タカトニアイタイ――ダカラライマカラゲートサガス」  
表示してあつた字をみて、思わず泣いた。

ピッ！ピッ！

ピッ！ピッ！ピッ・・・

みんなのもなつた！？

ぼくたちはギルモン達にあいたくてしようがない。  
いつものあの場所。ギルモンがいたばしょ。

そこにいくと・・・

「た―か―と―！――」

「ギルモン！――」

「テリアモン！――」

「レナモン！――」

「ガードロモン！――」

「マリンモンジュモン！――」

そして・・予想外の出来事！・・・なんとあの

「レオモン！・・・」

が戻ってきた。再構成してきたようだ。

肩にインプモンもいる。

が！そのとき

ゴオオオオと大きな音をたてて、なにかに吸い込まれていった。

どうなる？タカト！・・・

## 第1話 感動の再開（後書き）

短っ！…って思われてもしかたない。初心者だし。でも初心者だからって

ごまかしてないですよ。それでは。また。

## 第2話 ついたのは・・・(前書き)

どうも。JOKERです。初心者ですが、できるだけがんばります。  
応援していただけると嬉しいです。それでは、どうぞ。

## 第2話 ついたのは・・・

僕達は、デ・リーパとの戦いから一か月たち、生活を、ギルモンと叫う前とおなじ元に戻る。あそんでいるとき、「元に戻る」と思って、ギルモンがもどってきたが、なぞの穴にすこしまれるのだった。

「う。うーん」

「タカトー。ここっていつも世界だよね?」

周りをみてみると、車も走っているし、「コンビニ」や、レストランまである。

ここはリアルワールド?

ドカーーーン!――!

不意をつかれ、マンモンがあわててくる。その時――

「デジソウルチャ ジ!! オーバードライブ!!」

「アグモン進化!!」

アグモン?本物?

「シャイニングレイモン」

「――うおいや ああ――。」「――

マンモンを一発で・・・

「つたぐ・デジタルワールドからかえつてきてテーマをまつていたらこれが。」

「あ。あの。」

「ん? つてあああああああ――。」

「ギル?」

「おくれてすまない・・・つてあああ――。」

「なんで一般人が!――」

「ひづりときは、」

「新・DATSにきてくれ。」

そのころ・・ティマーズの世界・・・

小春「あはは！」

ロップモン「痛い！」

ピカッ！！

「「うわあーすいこまれる～～～」」

タカトたちのいる世界。

「いて。」

マサルの上に小春があちてきた。  
どうすればいいのかわからず、  
まずDATSにいくことにした。

## 第2話 ついたのは・・・（後書き）

ふー。つかれる。ネタはでるけど書きこくーーーでもがんばるーー！  
明日も更新予定  
(注)絶対ではないです。でも、明日あたり更新？でも今日でもいいや。

### 第3話 セイバーズの世界。（前書き）

始めたばかりなので多少、ここは変だ、原作と違う、などと言つてはあるかもしません。でも、そくならないようがんばります。

## 第3話 セイバーズの世界。

## 第3話 セイバーズの世界。

前書き 始めたばかりなので多少、「」は変だ、原作と違う、などと書つことはあるかも

小説本文 DATS についてのタクト達。

「うわあーー。すごいよタカト。」

- DATA -

そのあと、今まであつた事、変なものはもつてないかなどの検査が行われた。

- 1 -

「デジタルイズといいます。」

マサルは自分のデジ

「これだ。」「これだ。

「あ。あと、これは『ディーアークともいいます。』

レバニスノヌツルニシテハアリ

「あつーーでも、グレイモンの反応がーー！」

「現場にむかえーー！」

「アーティストの才能を発揮する機会を提供する」

「ほくたちだつてこきたいよ」

「アーティアモン……」

いいだらう。しかしDATSに入るならだ。即決できめてくれ。」

なつた。

「カードスラッシュ……白い羽……」

「現場」

「あつ……」

「グレイモンだ。」

「上等……」

飛び降りて、一発ガツン……と、なぐった。

「進化しよう……」「」

「デジソウルチャージ……オーバードライブ……」「マトリックスエボリューション……」

「おりやあああ……」

「うそかよ……タクト達が消えた?」「

「おりやあ……」

「ガオオオオオ……」

「ロイヤルセーバー……」「

「ガイアフォース……」

つづく

### 第3話 セイバーズの世界。（後書き）

遅れていますん！！

忙しいので短文になつてしましました。また更新するのは・。  
わからないです（おい

できるだけはやくします。では。

## 第4話　?・?・?（前書き）

更新遅れています…ません…こうこうあったもので…反省します。ではどうぞ。

## 第4話 ???

あらすじ

グレイモンが発生したので、かけつけると・・・

グレイモン「グワア――――――――――」

？？ 「あちゃー。やられちやつたよ。」

トウマ 「だれだ！！」

太一 「太一。八神太一だ。こいつは」

シユウウウ・・・

アグモン 「アグモンだよ！！」

大アグ 「なにいつてんだ！！！」せものーー！」

太アグ 「おまえだろーーー！」

大アグ 「やんのか？」

太アグ 「いいや。太一にとめられてるから。って。！」

大 「ここは俺達、セイバーズの世界。」

太一 「パソコンはある?」

トウマ 「いいえ。」

太一 「ラッキー」これからはいれるじゃん」

太アグ 「じゃあい」「うーーー！」

・・・。

太一 「あれ? いけない・・・・・」

太アグ 「えええ!! そんな・・・」

そのとき、パソコンが!! ひかつて・・・

タカト 「すい! まれる!!」

ギルモン 「うわああああああ!!」

つづく

## 第4話　？？？（後書き）

忙しいので短文に(泣)

これからもいっぱい書いて行きますよ。

ジョンくんのデバンなし。ゴメン。ゴメンよ。

## 第5話 再会の時（前書き）

あーいそがしー。しかもテストも重なつて……。あつと。  
おまたせしました！！5話突入です！！よければみてる人は宣伝してね。

（ムリにしなくてもいいです。）

## 第5話 再会の時

あらすじ

4話みてね

タカト「うわあああああああ

パシュ・・・・・

大 「ん・・・・い・ない・・・・?」

そのころ

太一 「いてー。おい、アグモン・・・つてここのは・・・・

「俺達の町だ！――！」

タカト 「大さんがいない・・・・」

ヤマト 「?」

「ん?って太一――帰ってきたのか――！」

太一 「おーおー、そんなおおげやマト ピピピヒ・・・もしもし? オレ。いまからパーティー やるから飯の用意。それとみんなをよんぐれ」

光子郎 「おめでとうござこます——」

ヒカリ 「お兄ちゃんおかえり！」

力チツ！！

「太一はなぜこうなったか。」 いまからみてみまし  
「作者」JOKE 「よう」

太一「暇だな」

アグ  
「うん」

ב' ב' ב'

太一 「ん?なんだ?あれ?」

“……..”

太一とアグ 「吸い込まれる／＼」

# セイバーの世界

太一 「ん？ あれは？ エアドラモンだ！！ 進化だアグモン！…」

カチリ

JOKER 「わかりましたか？ では。」

## 第5話 再会の時（後書き）

自分でましたね・・・気にしないでください。それと、ほりぼちロックマンとかも作る予定です。でわでわ。せいなら～～

## お知らせ（前書き）

謝罪と今後についてです。

## お知らせ

みなさんにお知らせがあります。

JOKERがしばらく更新せず申し訳ありませんでした。

そしてもう一つ。何個か不定期更新にします。（元から?）

話できる テンションあがつて文書く 次が浮かばない 更新ストップ！

別の書きたい 更新ストップ！ 次がやはり浮かばない 書く別ジャンル書きたくなる

・・・。このループです。はい。いろいろ迷惑をかけたなら、誤ります。

それで。今後の予定はと申します・・・

「遊戯王」いってみます！  
予告編書きます

あれは・・・2年前だつた・・・・

遊星とか十代とか、遊戯とか。  
有名人の大会。

観客だつた俺にスター・ダストがぶつかつて・・・・・・

「ガンッ！――！」

ピー・ポー・ピー・ポー・・・・

「うへん・・・・・」

俺は夢を見た・・・・

? ? ? 「ねえねえ！早く！――ちだよ――」

俺「あれ・・・・・」~~はは?~~「

？？？「はやくー！」

俺「ああ・・・うん」

そう。夢だけど覚えている・・・

『デュエルモンスターズのモンスターと遊んでいたこと・・・

遊 戲 王  
デュエルモンスターズ  
リバース・バトル

いかがですか?  
よければご覧ください。

今日、または明日くらい1話を投稿します。  
それでは・・・

「デュエル・ザ・リバース! デュエルまたしょーぜ!」

キメ台詞の予定?





## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4057n/>

デジモンティマーズ ~重なる物語~

2011年7月19日22時33分発行